令和８年度

甲南高等学校　学校評価

本年度の重点目標

１．学習の基礎・基本の確実な定着ならびに基本的生活習慣の確立という教育目標を達成するため、全教職員の協力体制を整える。
２．甲南高等養護学校を併設する学校として、お互いを尊重しあうノーマライゼーションを実践する新しい学校づくりに取り組む。
３．保護者・地域社会・関係中学校等との連携を深めるため、情報発信に努める。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は、教育目標をもとに信頼される学校経営を行っている。	A		
	学校は、教育方針や教育活動に関する説明を適切に行っている。	A		
2　学習指導	授業時間を確保し、シラバスに基づき計画的に学習指導を実施している。	A		
	教科主任を中心に、指導力向上の研究に努め、授業改善に取り組んでいる。	A		
3　生徒指導	基本的な生活習慣の確立をめざす指導を適切に行っている。	A		
	交通安全のルールを遵守する指導に努めている。	A		
	いじめ問題の予防や早期発見、早期対応と組織対応、早期解決に努めている。	A		
4　進路指導	勤労観・職業観を培い、目的意識の確立や計画的に進路実現とキャリアの育成に取り組む態度の育成に努めている。	A		
	進路の手引きや校内資料・相談体制が整備されている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたＬＨＲや学校行事を適切に行っている。	A		
	生徒会活動やＨＲ活動を、生徒が主体的に計画・運営できるようにしている。	A		
6　学校図書館	読書の大切さに気づかせ、読書習慣を身につけさせる指導を行っている。	B		
	教科・科目、総合的な探究の時間やＬＨＲ等に図書館の活用を図っている。	B		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A		
	生徒の事故・怪我・病気等への対応が適切に行われている。	A		
	防災意識の高揚に努めている。	A		
8　人権教育	仲間意識を高め､明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	A		
	ＬＨＲなどの特別活動や「産業社会と人間」などの教科を活用し、人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	環境学習を、教科学習に取り入れることなどを通して積極的に行っている。	B		
	資源の大切さを認識し、ゴミの分別・減量化などの環境教育を行っている。	A		
10　事務・管理	施設・設備の安全点検が日常的に行われている。	B		
	リサイクルや光熱費の節減に努めている。	B		
	文書管理が適切に行われている。	A		
11　その他 学校の取組	学校とＰＴＡとの連携による活動を積極的に行っている。	A		
	高等養護学校との交流をはかる中で、ノーマライゼーションの実践が積極的に行われている。	A		
	外部講師の活用や学校外施設の利用等により、専門分野の学習や地域との連携を深める機会を設けている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.kohnan-h.shiga-ec.ed.jp/